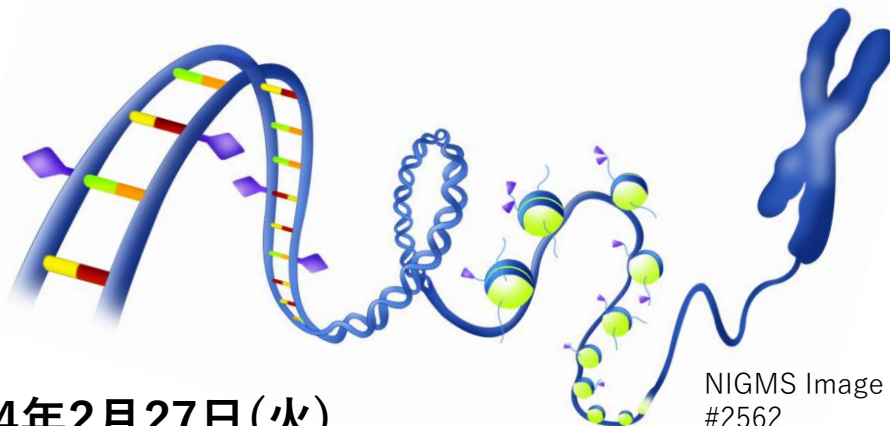


IMEGミニシンポジウム

酵母と哺乳類におけるエピジェネティック制御



NIGMS Image
#2562

2024年2月27日(火)

13:00 – 17:15

場所: 熊本大学 発生医学研究所 1階 カンファレンス室
& Zoom online (詳細はメールリストでお知らせします。)

13:00-13:40

- ◆ 中山潤一 (基礎生物学研究所 クロマチン制御研究部門)
休眠細胞のクロマチン構造

13:40-14:10

- ◆ 遠藤充浩 (熊本大学発生医学研究所 多能性幹細胞分野)
多能性期におけるPolycombによる転写抑制の役割

14:10-14:25 休憩

14:25-15:05

- ◆ 田上英明 (名古屋市立大学大学院 理学研究科/総合生命理学部)
新規クロマチン関連因子Mlo2のC末端ドメインはH4様にH3と結合する

15:05-15:10 休憩

15:10-15:40

- ◆ 古賀友紹 (熊本大学発生医学研究所 細胞医学分野)
骨髄球系細胞における炎症応答のエピゲノム制御機構

15:40-16:10

- ◆ 日野信次郎 (熊本大学発生医学研究所 細胞医学分野)
リジン脱メチル化酵素LSD1による環境ストレス応答の調節

16:10-16:25 休憩

16:25-17:15

- ◆ 村上洋太 (北海道大学 大学院理学研究院)
転写ユニットの繰り返しは抗サイレンシング因子 Epe1 を介して RNAi 依存
ヘテロクロマチン形成を促進する